

緑のカーテンプロジェクトいわて (GCPI)



2011 年活動報告書

(2011 年 12 月 31 日)

緑のカーテンプロジェクトいわて (GCPI)

実行委員会

代 表 野澤 日出夫 (小岩井農牧)

副代表 平 塚 明 (岩手県立大学)

緑のカーテンプロジェクトいわて（GCPI）実行委員会活動報告

緑のカーテンプロジェクトいわて（GCPI）の発足

“宇宙を旅したアサガオ種子 2 代目”

2008 年 3 月 11 日、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の土井隆雄宇宙飛行士は、植物種子と共に「エンデバー号」に乗って国際宇宙ステーション（ISS）へ向った。

ISS の日本モジュール「きぼう」内に 9 か月間保存されたアサガオ種子（品種ムラサキ）は日本で発芽後栽培され、それから採取した二代目種子 3,800 粒が 2011 年、NPO 自然環境復元協会へ譲渡された。

その内 2,500 粒が岩手県立大学総合政策学部・平塚明教授に送られた（6 月 4 日及び 11 日）。



このアサガオ種子から作った「緑のカーテン」を仮設住宅に設置し日陰と共に潤いを提供したいと言う平塚教授・小岩井農牧野澤顧問と志を同じくする人達によって、プロジェクトが結成された。

GCPIの主たる構成員：

NPO 環境パートナーシップいわて

小岩井農牧(株)（野澤日出夫・GCPI 代表）

岩手県立大学総合政策学部（平塚明教授・GCPI 副代表）

NPO Asia Environmental Alliance

NPO 日本ビオトープ協会

岩手・木質バイオマス研究会

日本ベストマン・グリーンシステム研究会

GCPI 支援先：

① 釜石市地区：中妻町（昭和園グランド）仮設住宅団地（18 棟 118 戸）

② 大槌町地区：大槌仮設住宅団地（9 棟 45 戸）

*協力：臼澤良一氏（大槌町・小釜まごころ広場代表・遠野まごころネット）

加藤直子氏（釜石市・あさがおネットワーク代表）

（岩手県立大学・平塚教授のご紹介）

GCPIによる主な活動

- 5/30 アサガオ種子受け入れ・被災地支援方法打合せ（県立大）
- 6/03 NPO 自然環境復元協会より岩手県立大学にアサガオ種子 1000 粒到着
- 6/07～ 紙ポット作成 播種・発芽後の育苗（平塚研究室・共同園芸依田一裕氏協力）
- 6/10 釜石市・大槌町協力者との打合せ および 設置場所の下見（野澤・平塚）
- 6/11 NPO 法人自然環境復元協会より追加種子 1500 粒到着
- 6/13&15 釜石地区・大槌地区仮設住宅への設置方法現地検討会（野澤・白澤氏・加藤氏）
- * 設置計画に基づき資材調達（主要資材は小岩井農牧（株）環境緑化部に委託）

6/26 NPO 環境パートナーシップ いわて総会

- * GCPI 事業
「緑のカーテンプロジェクト活動（案）」をプレゼンテーション
(野澤)
- * 環境パートナーシップいわて
自主事業として採択



- 7/02 現地搬入・緑のカーテン設置開始（*住宅改修工事により一部仮設住宅のみ設置）
- 協力：釜石市/加藤代表とあさがおネットワーク/仮設住宅住民
及び釜石市ボランティアセンターより派遣ボランティア
大槌町/まごころ広場・白澤良一代表/遠野まごころネット/仮設住宅住民

- * 釜石地区：中妻町仮設住宅（18 棟 118 戸）プランター108 個
- * 大槌町地区：大槌仮設住宅（9 棟 45 戸）プランター100 個

★ 強い日差しを防ぐためアサガオの成長まで遮光ネットを取り付けた

★ 仮設住宅の改修工事が始まり工事の進捗に合わせて設置することに

- 7/14 改修済住宅へカーテン設置
- 7/22 改修済住宅へカーテン設置
- 7/28 未設置住宅へカーテン設置



- 7/31 盛岡エコライフ 2011 にてパネル展示により啓蒙をはかる（県立大・平塚研究室）
- 8/26 釜石市・大槌町設置緑のカーテンの発育状況調査と撤去時期など打ち合わせ
（野澤・加藤氏・臼澤氏ほか）
- 9/03 土日環境学習講座「植物のちから」県立大学・平塚明教授（アイーナ）
GCPI 打ち合わせ会・今後の進め方（アイーナ）
- 9/11 住民アンケート実施及びメンテナンス
協力：加藤代表とあさがおネットワーク、県立大学渋谷晃太郎教授と学生
- 10/07 釜石地区「緑のカーテン」撤去作業：
協力：加藤代表とあさがおネットワーク、釜石ボランティアセンター派遣ボラン
ティア
⇒ つる付きネットは県立大学総合政策学部渋谷研究室に搬入
乾燥後つる外し・種子採取作業（渋谷・平塚研究室学生）
- * ネット及びアンカーロープ止め等次年度に向け小岩井農場に保管依頼
 - * アサガオのカーテン撤去後のプランター108 個には、住民の希望に添って NPO 法人

Asia Environmental Alliance

高野光博理事により、秋の花及び
スイセンの球根（柳生真吾のスイ
センプロジェクト 500 球寄贈）を
植え付けて設置した（協力：加藤
代表とあさがおネットワーク）



- ★ 釜石地区における 7 月の「緑のカーテ
ン」設置以降は、加藤代表とあさがおネ
ットワークが都度アサガオ育成のフォ
ローを行うと共に仮設住民とのコミュ
ニケーションをはかり孤独化を防ぐ活動を現在も継続している。

- ★ 8 月 15 日付け朝日新聞に昭和園の「緑
のカーテン写真」が掲載されたが、NGO
日本リザルツの「命のあさがお」とし
て紹介された。直ちに両者に対して異
議申し立てを行った。

調査の結果 GCPI のプランターにかな
りの「命のあさがお」の種子が播種さ
れ成育していた。このため「宇宙を旅
したアサガオ」の 3 代目種子の純粹採
取は困難になった。



（朝日新聞掲載写真：釜石市葛谷晋吾氏撮影）

設置仮説住宅世帯アンケートの実施

アサガオの開花が進み、熱暑の峠を越えた時期に、次年度の展開について手法の確立及び住民の意向を知るためにアンケートを実施した。

実施日：9月11日(日)

場所：釜石市中妻町仮設住宅(昭和園グランド) 仮設住宅18棟108戸

アンケート用紙配布：緑のカーテン設置世帯 全54戸

アンケート回収数：37戸 (回収率：71%)

質問項目と各回答：

1. 今年の緑のカーテンについて

a. 良かった 26 (70%) b. まあまあ良かった 10 (27%) c. 良くなかった 1 (3%)

2. 良かった理由

a. 涼しかった 25 (52%) b. 潤いがあった 12 (25%) c. 花がきれい 11 (23%)
d. その他意見 日影が出来た

3. 良くなかった理由

a. 部屋が暗くなる 3 b. あまり日影にならなかった 0 c. 手入れが大変 2
d. その他意見

- ・電気を点けるくらい部屋が暗くなった
- ・水やりの量がわからない
- ・設置時期が遅い・早めに設置して欲しい
- ・花が咲くのが遅い
- ・換気扇(*後から換気扇が付けられた)に巻きつく
- ・花の色がいろいろ有ると良い
- ・アサガオは夕方になると萎れている。
ゴーヤ(*県が8月下旬設置)の方は葉がしっかりしている
- ・玄関に設置して欲しかった。(西日が玄関側から当たる)
- ・良くなかった理由は無い

4. 設置やその後のボランティア活動についての意見

a. 良かった 31 (83%) b. 良くなかった 0 (0%) c. どちらでもない 4 (10%)
d. その他意見 0 (0%) 無記名 2

5. つる植物について

a. アサガオで良い 25 (67%) b. ゴーヤの方が良い 7 (18%)
c. その他希望 アサガオとゴーヤ両方 5 (15%)

6. ネットの取り外し時期

a. 早く取りたい 2 (3%) b. 9月下旬(10月上旬) 27 (73%) c. 種を採ってから 6 (16%)
c. いつでも良い 1 (*設置者の都合に合わせる) 無記名 1

7. 来年の設置についての意向

a. 希望する 34 (92%) 希望しない 3 (8%)

希望しない理由

・特になし

・電気を点けるくらい部屋が暗くなる

(*アサガオの生育まで日差しを遮る“遮光ネット”取り付けによるものか・・・)

・手入れが大変

(*仮設住宅一棟 6～7 世帯の中央付近では窓側へ玄関側から水を持って行くのが大変と思われる・・・特に住宅周囲は碎石敷 ⇒ 後日舗装された)

8. カーテン撤去後のプランターについて (要不要)

a. 希望する 37 (100%) b. 希望しない 0 (0%)

チューリップ要望者 1

(*印：筆者補足)

以上のアンケートから仮設住民の意向に添うよう次年度の活動につなげ、一層の満足度を上げると共に支援資金によっては支援領域拡大を図る事も視野に計画を進める事とする。

~~~~~

被災地支援の小さな活動ではありましたが、多くの方々から暖かい手を差し伸べて戴き、被害に遭われた人たちへ少しでも潤いを提供出来たのではないかと評価しております。

関係者各位・ご協力を頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

2011 年 12 月 31 日

〒020 - 0507 岩手県岩手郡雫石町丸谷内 36 番地 1

小岩井農牧(株)小岩井農場気付

緑のカーテンプロジェクトいわて実行委員会

代 表 野 澤 日出夫

副代表 平 塚 明